

製品名: C4 (19L8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07749**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	193kDa

抗原情報

遺伝子名	C4A
別名	Acidic C4; Acidic complement C4; Basic C4; Basic complement C4; C4A; C4A2; C4A3; C4A4; C4A6; C4AD; C4B1; C4B12; C4B2; C4B3; C4BD; C4F; C4S; CPAMD2; CPAMD3;
遺伝子 ID	720;721
SwissProt ID	P0C0L4
免疫原	ヒト C4 の合成ペプチド

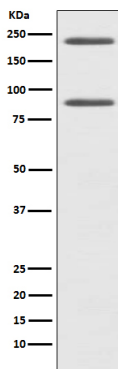
背景

平滑筋の収縮を誘発し、血管透過性を高め、肥満細胞および好塩基性白血球からヒスタミン遊離を引き起こす。C3 および C5 転換酵素の非酵素的成分であり、したがって古典的補体経路の伝播に不可欠である。免疫グロブリンおよび免疫複合体に共有結合し、免疫凝集体の可溶化と赤血球上の CR1 を介した IC のクリアランスを促進する。C4A アイソタイプは、免疫凝集体またはタンパク質抗原とのアミド結合を形成するための効果的な結合を担い、C4B アイソタイプはチオエステルカルボニル基のトランスアシル化を触媒し、炭水化物抗原とのエステル結合を形成する。

研究分野

免疫学; 自然免疫; 補体; 古典的経路

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の C4 発現のウェスタン プロット分析。